



えがぶお



目次

P2~4	9月定例会
P5~7	常任委員会報告
P8~13	一般質問市政のココを問う
P13	議会の主な動き
P14	広報編集特別委員会視察研修報告 市議会災害対策本部設置規程の制定
P15	追跡あれからどうなった

議案に質疑します

前島地区交差点について

宮下 前島地区交差点の国道266号と市道の改良工事が減額になっているが、工事は行われるのか。

答 より安心・安全な道路環境とするために改めて測量・詳細設計を実施する必要がある。今回、新たに測量・設計を実施し、熊本県警との交差点協議を12月頃、自然公園法に則した申請を来年1月に実施する予定です。

上天草市入札監視委員会設置条例の制定について

田中た 委員会の定例会議を原則6カ月に1回開催する根拠は。不祥事が起こった後であるため、3カ月に1回でもいいのではないか。

答 当市と同規模の宇土市では6カ月に1回開催されています。条例ではそのように制定しましたが、項目の中で委員長が必要と認める時期に開催できるとしてはいますので、対応できるかと思えます。

議案質疑とは、提案された議案に対して詳しく知りたい点などを執行部に質問することです。9月5日に行われた議案質疑について、その質問と答弁を要約して一部掲載します。

宮津地区総合開発策定業務委託料について


宮下 本来ならば増額分は当初予算に計上すべきではなかったのか。何か急ぐ理由でもあるのか。

答 新図書館の整備費用の財源となる合併特例債の期限が平成30年度となっていますので、既存の施設との総合的な開発計画を平成27年度に早期に策定する必要があることから、今回の補正で計上しました。

前島地区総合開発について

桑原 前島地区に進出する企業からの協力は、寄附金として措置すべきではないかと考えるが、協力金としたのはなぜか。次年度以降も計上するのか。

答 今回進出する藍の村観光株式会社から、前島を中心とした観光振興を図るための協力金として納付したい旨の申し出があり、年間168万円の歳入を計上させていただいたところ。向こう10年間ということ、覚書も交わしていますので、次年度以降も予算計上します。




前島開発完成予想図

水上セスナ遊覧飛行について

新宅 専用のセスナを導入していくのか。水上セスナを利用した観光に展開していくのか。空から上天草市の魅力を発信していくのか。今後の事業の活用方法を伺いたい。

答 今回のセスナのフライトを検証しまして、もしイベントで使えるようであればPRの一つとして、今後検討していくことなると思えます。ただ、市のほうで実際、運営するかについては無理があると思えます。今回は10周年のイベントですけれども、必要であれば記念イベントの際に検討させていただきます。活用できればと考えています。



水上セスナ

ふるさと応援基金について

田中万 今回370万円取り崩した分はどのように使われるのか。

答 大湯地区の農道舗装に300万円、それから登立小学校の本棚及び図書購入費に70万円を計上しております。寄附者が考えておられる地域への思いと重なりましたので、今回基金を取り崩して充当させていただいたところです。

9月定例会

9月定例会は、9月1日から9月19日まで開催され、条例5件、補正予算11件、その他2件、諮問1件を審議しました。議案はすべて原案どおり可決し、請願2件のうち1件を不採択、もう1件を継続審査、陳情1件を採択としました。また、平成25年度決算認定については、決算特別委員会において審議されます。

条例制定 可決

- 上天草市入札監視委員会設置条例の制定について
- 上天草市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 上天草市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 上天草市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の制定について
- 上天草市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

主な補正予算 可決

旧松島庁舎及び保健センター解体工事業

国の経済対策（平成25年度）により交付される『がんばる地域交付金』を活用し実施します。

8,900万円



旧松島庁舎

災害復旧費

7月の豪雨による、道路や農地などの災害復旧に係る費用。

4,827万円

看護専門学校建替事業

建設資材及び労務単価の上昇や、基礎工事の変更による増額。

1億6,099万3,000円



看護専門学校

反対討論

- 議案第57号 一般会計補正予算（第3号）
- 宮下 大矢野町の森慈秀記念図書館の移転には賛成だが、新図書館建設や、前島開発等の大型事業は既存施設の使用・事業規模を縮小するなど、計画を見直すべきである。
- 議案第67号 上天草総合病院事業会計補正予算（第1号）
- 島田 看護専門学校の建設費を大幅に増額してあるが、将来的に病院を守っていくのか危惧する。設計等を変更してでも増額するべきではない。
- 議案第69号 財産の無償貸付について
- 宮下 誘致企業には3年間の無償貸付だが、藍の村観光株式会社には10年の無償貸付である。誘致企業との不公平がないようにするべきである。

9月5日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、3つの常任委員会で行いました。委員会審査における主な質問とその答弁、委員から出た意見などを紹介します。

上天草市議会 常任委員会

問 第三者機関については、その入札の具申を、市長に対し意見の具申を行い、その内容は市のホームページなどで公表していきます。基本的には入札等が行われた結果の内容について審議する委員会です。

答 第三者機関については、その入札の内容等を審議し、市長に対し意見の具申を行い、その内容は市のホームページなどで公表していきます。基本的には入札等が行われた結果の内容について審議する委員会です。

具申とは・・・上位の人や機関に詳しく申し述べること



総務常任委員会

9月11日、付託された議案について審査を行いました。その経過、並びに結果についてご報告します。

議案第52号
入札監視委員会設置条例の制定



問 この条例案は、委員会の事務として指名や入札が行われた後のことが主に謳われているが、本来の監視機関としての効果は見込めるのか。

問 旧松島庁舎、旧保健センターなどの解体工事は、国のがんばる交付金を充当することだが、解体の時期・期間はあるか。

議案第57号
平成26年度一般会計補正予算(第3号)
〔所管部門〕



答 交付金を活用しますので、年度内の完了が条件になります。今月から計画に入り、11月に測量設計、1月以降に発注し、3月20日に完了予定です。



旧松島庁舎

問 現時点で跡地利用についての協議はなされたのか。

答 検討委員会を立ち上げ、地域住民の代表者並びに地元議員にオブザーバ



委員からの意見
この請願は平成24年12月定例会で同様の請願が出され、25年3月定例会で不採択とした経緯がある。
誰しも消費税は増額してほしくないが、かつてない高齢社会を迎えるに当たって、社会保障の財源をどこから捻出するのか、若い世代に負担を押し付けていいのかなどを考えれば疑問を感じる。
このような前回と同様の意見が多くを占めたことから「不採択」に決定しました。

請願第4号
消費税増税の撤回を求める
意見書提出を求める請願



―として加わっていただき、行政財産としての利用、地域の利用、企業誘致、普通財産としての売却などについて協議を行いたいと考えています。

決算特別委員会 設置

議会では、平成25年度の一般会計・特別会計・水道事業会計・上天草総合病院事業会計の決算について審査するため、決算特別委員会を設置しました。委員会で審査し、次の12月議会でその結果が報告されます。



委員長 平田 晶子
副委員長 高橋 健
委員 嶋元 秀司
切通 英博
何川 雅彦
宮下 昌子
園田 一博
桑原 千知
津留 和子

人事案件

●人権擁護委員

塩田 克也氏

大矢野町



請願・陳情



件名	提出者	結果
消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願	消費税廃止上天草地域各界連絡会 代表者 荒川貴範	不採択
「農協改革」に関する請願書	あまくさ農業協同組合 代表理事組合長 川口義英	継続審査
中小企業者への仕事確保を求める要望書	天草民主商工会 会長 山下久 大矢野支部長 荒川貴範 松島支部長 福山安則	採択

議案等の賛否表

賛否の分かれた議案などについて、下記のとおり公表します。

議案番号	議案名	賛否	結果	表決数	嶋元 秀司	切通 英博	平田 晶子	何川 雅彦	田中 たつお	宮下 昌子	西本 輝幸	高橋 健	小西 涼司	島田 光久	新宅 靖司	田中 万里	園田 一博	桑原 千知	渡辺 勝也	田中 勝毅	津留 和子	堀江 隆臣	
議案第54号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案に対して賛成か	原案可決	16:1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	一般会計補正予算(第3号)	原案に対して賛成か	原案可決	15:2	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	上天草総合病院補正予算(第1号)	原案に対して賛成か	原案可決	15:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	財産の無償貸付について	原案に対して賛成か	原案可決	14:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願	不採択とすることに賛成か	不採択	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	「農協改革」に関する請願書	継続審査とすることに賛成か	継続審査	15:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎議案名は一部省略しています。

○賛成 ●反対 -議長は除く

経済建設常任委員会

9月12日、付託された議案について審査を行いました。その経過、並びに結果についてご報告します。

議案第57号

平成26年度一般会計補正予算(第3号)

〔所管部門〕



問 水上セスナ機を活用した上天草市の魅力再発見事業について、離発着時の十分な安全対策は考えられているのか。

答 安全性や天候不順による対策については、関係者と十分協議を行い、中止も含め万全を期します。また、海上保安庁や漁協との協議も済みであり、離発着海域の安全対策としてチラシ配布や4隻の監視船の配備などで周辺の警戒監視を行います。



水上セスナ機

文教厚生常任委員会

9月10日、付託された議案について審査を行いました。その経過、並びに結果についてご報告します。

議案第53号

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定



問 認定こども園を検討している事業所が2カ所あることだが、認定するとした場合教員免許が必要か。

答 市には幼稚園がないため保育所型になります。暫定期間を設け、教育部分での資格を取得すれば運営は可能です。移行時点での免許は必要ありません。

議案第54号

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定



問 保育士の資格が必要なのか。

答 資格は不要で、一定の研修を受け、市長が認めた人が従事できます。

問 景観計画策定業務委託について、計画の内容、撤去に該当する屋外広告物の対象とはどのようなものか。

答 現在、広告物の大きさや色など統一性がないため、景観形成の基準を定め、景観計画を立てるものです。現在の広告物も撤去対象になる事もありますので、取り扱いについては策定委員会において十分協議していきます。

問 国道の前島地区交差点取り付けは、今後どのように進めるのか。また、民間の施設は27年度オープン予定だが、工事と重なり渋滞が起きるのではないか。

答 県警や道路管理者と右折・左折レーンなど、より詳細な交差点の取り付け協議を行う予定です。工事については27年度内の早期完成を目指し、渋滞の緩和については仮設道を設置して対策を講じます。



前島入口

委員からの意見

資格の部分が曖昧になっている。条文に「資格を有するもの」と記載し、附則で「市長が認めた場合はこの限りではない」などの文言を入れるべきだ。



議案第57号

平成26年度一般会計補正予算(第3号)

〔所管部門〕



問 伝統文化活性化補助業務委託料は国の補助金不採択により減額されているが、今後どのような計画になっているのか。

答 来年度、伝統芸能の映像化へ向け、一般財団法人「地域創造」の助成金を申請中です。

議案第66号

平成26年度水道事業会計補正予算(第1号)



問 漏水調査の現状はどうなっているのか。

問 歳入において、前島地区総合開発協力金84万円は半年分の賃貸料と理解しているのか。

答 隣接した土地を参考に評価額の3%を貸付相当額として算出し、半年分として計上しています。

予備費の充用についての報告 梅雨時の大雨により農道や市道の路肩崩壊や家裏の土砂崩れなどが多数発生しました。このため、土砂撤去や災害復旧工事設計などの経費として、農林水産課679万6千円、建設課326万5千円を予備費から充用したとの報告がありました。



議案第69号
財産の無償貸付について



問 土地の無償貸付については、今回の本会議では特例との答弁だったが説明を。

答 総務省の「地域の元気創造プラン」の制度に基づき無償貸付を行うもので、特例ではありません。

答 5月に発注した調査では、松島19カ所、大矢野19カ所見つかかり、有収率も数%上がっています。今年度は80%まで引き上げたいと思います。

議案第67号

平成26年度上天草市立上天草総合病院事業会計補正予算(第1号)



問 看護専門学校の建替事業費が大幅に増額しているが、予算計上の際、どのような積算を行ったのか。

答 建設工事に係る物価版と看護学校に関する施設基準に基づいて積算を行いました。

問 寮費は古くなるにつれて値上げしていく計画だが、審議会での意見はなかったのか。

答 現在の建設費の見込みで試算しています。今後、建設費や企業債の利息などが確定したところで再検討する予定です。

委員からの意見

学生の環境整備は大切だが、病院経営の圧迫が危惧され、3億6千万円の増額は簡単に了承できない。規模を縮小し、当初の予算の枠内で行うべきである。

市政のココを問う



一般質問

9月定例会では9人の議員が一般質問を行いました。

A **Q**

Q 避難所の在り方について、どのような考えでいるか
A 一つ一つ解決し、今後も精一杯やっていきたい



田中 万里議員

A **Q**

Q 廃止となった『住宅リフォーム助成制度』の復活を
A 要望が多数あるようなら検討させていただきたい



宮下 昌子議員

市長 一つ一つを解決していき、今後もできる限りのことを精一杯やっていきたいと思っております。

田中 7月、8月の台風などによる避難所への避難者数は、**総務企画部長** 7月9日、台風8号において、210世帯・265名、8月9日の台風11号は13世帯・14名です。

田中 避難者の年齢層は、**総務企画部長** 60歳以上の人が77.6%、59歳以下の方が22.4%です。

田中 ほとんどの避難所が60歳以上の人で、高齢者の中には、人の手を借りないと生活できない人もおられる。今後はその点も考えておかなければならないと思つが、**総務企画部長** 高齢者、また弱者の人たちの避難ということで、今、社会福祉協議会のほうを実施しており、小地域ネットワークなどと連携しながら、要援護者の支援を図っていくことが必要だと思います。

田中 今回、大きな災害は起きなかったが、今後、避難所の在り方などにどういったふうに考えているのか。

市長 一つ一つを解決していき、今後もできる限りのことを精一杯やっていきたいと思っております。

田中 市内公共施設の身障者用駐車場について、**総務企画部長** 松島庁舎に3台、大矢野中学校駐車場内に1台、計4台が屋根付き駐車場です。

田中 大矢野庁舎にも身障者の人たちが多く車でこられますが、雨の際など不便がないような対応をしなければならぬと思つが、**市長** 身障者用駐車場というのは、既に設置されており、おたまたま露をしのぐかという点について検討したいと思いますと思つが、

市長 身障者用駐車場というのは、既に設置されており、おたまたま露をしのぐかという点について検討したいと思いますと思つが、

市長 身障者用駐車場というのは、既に設置されており、おたまたま露をしのぐかという点について検討したいと思いますと思つが、



大矢野庁舎身障者用駐車場

市政のココを問う KAMIAMAKUSASHIGIKAIDAYORI

宮下 実施された3年間の実績と効果は、**建設部長** 補助件数が107件、補助金額が1千675万4千円、補助対象事業費が2億3千398万2千675円となっております。

宮下 かなりの経済効果があったのではないかと。上天草市の制度は廃屋解体にも使え、関係者からは高い評価をいただいていた。ぜひ復活をして欲しい。**市長** そういった要望が多数あるようでありましたら、また検討させていただきますか。

宮下 現在、乗合タクシーを6地区で運行されているが、利用者の反応は、**総務企画部長** 利用者の声は把握していませんが、平成25年の利用実績は、8千718人、一日当たり3.5人の利用です。拡充については、現在要件を満たす地域がないため計画しておりません。

宮下 利用者は障がい者や高齢者だが、「バス停まで歩いていくのが大変だ」という声があり、不便な思いをされている。要件を満たしていなくても拡充すべきでは、**総務企画部長** 路線バスの廃止で交通空白地域が発生した場合は、導入の可能性が出てくると思います。

宮下 市が主催するイベントへ参加するためのバスの運行をして欲しい。高齢者が積極的に外に出て文化的なことを楽しんで、人と交流することで、医療費の削減にもつながるのではないかと。**市長** 市民の要望を実現するためにネットワークとなるのが財政問題。今後、大型開発も次々に予定されているが、今何が必要なのかを精査して市民に喜ばれる施策をしていただきたい。



氏名	質問事項
田中 万里	●避難勧告と避難所について ●市内公共施設の身障者用駐車場について ●市主催のイベントについて
宮下 昌子	●小規模企業振興策について ●交通対策について ●若者支援・子育て支援について ●「収賄事件」について
田中たつお	●検討する、努力する答弁からの進展
島田 光久	●介護保険制度改定の内容について ●上天草市贈収賄事件の判決について ●前島開発による観光振興策について
小西 涼司	●前島地区総合開発事業について ●上天草市まちづくり事業について ●公用車について

氏名	質問事項
平田 晶子	●女性の活躍推進について ●教育行政の今後の課題について
嶋元 秀司	●障がい児・障がい者の送迎等支援について ●生活排水の現状について ●海区調整委員選挙人登録について
津留 和子	●子ども医療費の制度の拡充を
高橋 健	●小学校における部活動のあり方について ●ふるさと納税について

※一般質問（定例会及び臨時会）の会議録についてはホームページや各図書館にて閲覧できます。（定例会終了後、概ね2カ月後にホームページへの掲載及び図書館に会議録配付となります）

Q 出張所の廃止について

A 完全に廃止と決定していない



田中たつお議員

【検討課題について】

田中 子ども医療費の中学3年生までの無料化について。県内自治体において、中学3年生までの助成対象が増えている中で、本市としましては、財政的な形の見通しが立った上で実施する方向で検討しています。

田中 日本の人口減少社会の要因について。

市長 20年間におけるデフレが根本的な原因ではないかと思えます。これを克服する事が第一であり、GDPの拡大を目指し所得を増やすなど、そういったことを複合的にできるように心がけて、初めて人口減少が止まると思います。

田中 学校給食費の無料化若しくは一部軽減負担について。

教育部長 学校給食法において、給食の食材料費については保護者負担とすることが定められているため、現在、保護者負担をお願いしているまま



す。無料化並びに一部軽減負担については、検討していません。

田中 藍の村観光さんは、基本的に11月ぐらいから工事に入り、来年の6月にオープン予定と聞いたが、間違いないのか。今後の市側の計画並びに住民の意見について。

経済振興部長 工事並びにオープンについては議員の申された通りです。また、今後の計画は、交差点の詳細設計、それと県警との協議を今年12月をめぐりに予定しています。工事着手は、平成27年度にずれ込む予定で、藍の村観光の6月オープンには厳しい状況です。

住民の意見としては、まず、交差点工事が完了してから、とごうことを一貫して主張されているようです。

田中 上天草総合病院行きのバス運行状況について。

病院事業管理者 患者さんが交通機関を出発するだけ利用できるように対応しているところですが、できれば、もう少しバスの便が増えればと思います。

Q なぜ事件が発生したのか

A 市役所の中に組織風土あるいは安易な文化があった



島田 光久議員

島田 今回の事件により、市政に対する市民の不信感が高まっている。

市の調査報告書によると、検察の陳述、論告に対して2カ所赤字で記載されている。

(1) 市職員の中に業者から便宜を受けている者が存在する。
(2) 指名業者はずしの指示があった。

これは「事実ではない」と否定されているが。

総務企画部長 市の調査ではこのような事実はなかったと判明しました。今回の事件の内容及び判決に対しては尊重しているところです。したがって、検察側の主張に対し、市として肯定も否定したものではありません。

島田 裁判では、元建設部長以外にもお中元・お歳暮、接待含めて便宜を受けている者が存在する。また指名業者外にもあったと。これが事実であるなら



構造的であり、事実として認めるべきではないか。

市長 我々の独自調査では、飲食などの接待を含めて便宜は図られていなかった、官製談合ではないというのが調査の結果です。

しかしながら、こういった職員の倫理観を欠如した行為そのものが、組織風土として市役所の中にあつた、その風土あるいは安易な文化というのがあつたというのは事実ですので、それについては率直に私のほうからも謝罪をさせていただき、二度と起こらないように改善を図っていきたくと考えています。



Q 公用車の台数は

A 117台保有 (内7台がエコカー)



小西 涼司議員

小西 過去3年間の入れ替え台数と燃料費を含む維持費はいくらか。

総務企画部長 納車台数は3力年で17台を購入。廃車台数は3力年で15台で現在117台を保有しています。内7台がエコカーです。25年度は維持費が1千188万8千円で、内燃料費が706万6千円です。

小西 今後低燃費車、低公害車の導入に向けて努力していただきたい。電気自動車の普及に向け、充電器を設置する考えはないのか。

市民生活部長 補助金を活用し、民間の設置状況の推移を見ながら検討していきたいと思えます。また、さんばーるには普通充電器1基が設置済みであり、急速充電器は平成27年2月までに設置できる見込みです。



公用車 (エコカー)

【現在のヤマハ棧橋の取り扱いは】

小西 ヤマハが現在使用している棧橋の今後の利用方法の考えは。

経済振興部長 前島地区を一体として整備していく中で、供用開始に向けて、使用料や利用の対象者範囲などの詳細を検討し、公の施設の管理条例を整備した上で運用を図ります。

小西 前島地区への進入路の交差点はいつ頃の完成を見込んでいるのか。

経済振興部長 詳細設計は今年12月をめぐりにしています。今後、県警や国と協議を行い、詳細設計がまとまれば、その時点で事業の進捗について改めて説明できるものと考えています。

小西 地元の協力がなくては事業もうまくいかない。一番良い方法で工期的にも短縮できるような工法など考えながら進めていただきたい。

市政のココを問う KAMIAMAKUSASHIGIKAIDAYORI

Q 市内小中学生の携帯電話所持率は

A 携帯・スマホの所持率は小学生4割、中学生7割

Q 市内小中学生の携帯電話所持率は



平田 晶子議員

【教育行政の今後の課題について】

平田 ネットをやめたくてもやめられないという症状が子供たちにも広がっているが、教育委員会としてのネット依存防止に向けての対策はどうなっているか。

教育部長 7月に開催した上天草市子どもサミットで、スマホやSNSワーカーのルールを小中学校の代表が決め、各学校で取り組むよう進めたところです。PTAでも親の立場からのルールを考えて頂いています。

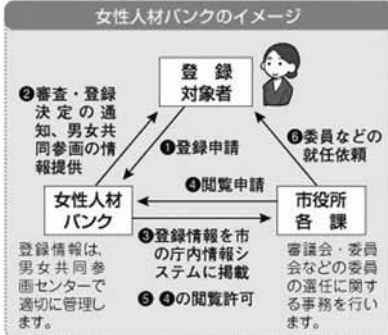
平田 教育委員会という名称はよく知られているものの、市民には委員会組織や運営についてはあまり理解されていない。ホームページや教育委員会だよりを発行し、教育委員会の施策や取り組み、委員会会議の主内容、子供たちや学校の活躍や実情、教育長の言葉など、教育委員会の活動の見える化を図ることで、教育委員会が市民から身近に感じていただけたらと思うがどうか。

教育部長 私も4月に教育委員会に参りまして、情報の見える化が不足しているなど感じておりましたので実現に向けて今後頑張っていきます。

【女性の活躍推進について】

平田 地域における女性人材の発掘及び女性の市政への参画を積極的に進めるために、人材情報を登録し、市政や地域社会の発展に生かすことで審議会などの委員の候補者とする「上天草市女性人材バンク」の設置を提案する。

総務企画部長 地域に埋もれている女性の人材を発掘することが、市の活性化につながる重要な政策であると認識しています。今後、前向きに検討し進めていきたいと考えています。



女性人材バンクのイメージ

Q 増加傾向の支援学校
通学児童への対応は

A 事業者、関係市と協議を
重ねていく



嶋元 秀司議員

嶋元 障がい児などの支援学校や事業所など他市に頼るところが多いが、送迎や就労支援など上天草市独自の支援はできないのか。

健康福祉部長 行政機関としての送迎事業所設立は難しいものがあります。民間で事業実施の希望がある場合は、支援などを行っていきたく思います。また、支援学校卒業後の就労希望の動向を見ながら、今年度策定をいたします。障がい福祉計画の中で事業所の拡充を検討しながら、市内における選択肢の幅を広げていきたいと思えます。



【生活排水の現状について】

嶋元 集落排水施設など、合併浄化槽と併用して汚水処理の普及率を上げる事はできないか。

建設部長 現在は、小型合併浄化槽の推進計画を立てています。集落排水については上天草市全体となると多額な事業費も見込まれ、予算の確保は難しい。

Q 子ども医療費の
助成制度の拡充を

A 近いうちに制度改正に
向けて決断したい



津留 和子議員

津留 国の制度に乳幼児医療費助成制度があり、上天草市子ども医療費助成制度がそれに当たります。国は3歳までの乳幼児の医療費を自治体に助成しています。3歳以上は自治体が一般財源と県の補助で助成しています。最近、県下の自治体でこの助成制度の拡充が進められています。上天草市の制度は現行9歳の小学校3年生までであり、県下では下から二番目のランクです。県下28の市町村が中学3年生までの制度になっています。この中には上天草市よりも豊かでない自治体も多いです。上天草市の助成額は現行約6千万円、あと3千万円ほど増やしたいだければ中学3年生までの医療費が賄えるということになります。上天草市のご数年の決算は赤字であり、単純にこの助成額で子供たちが助かるのであればこの上ない思いです。現在子育て中のお母さんがたに聞き取り調査をした結果、ほとんどの人が制度改革を望んでおられます。すぐに少子化問題に効果が出るとは思いませんが、この先、安定した上天草市の助成制度となることで結果はついてくるのではな

いでしょか。この問題は全国市議会議員会、熊本県市議会議長会でも取り上げられています。27年度からせめて段階的にも助成年齢の拡大、制度の拡充を市長に強く要望いたします。

市長 議論は出尽くしたと感じています。当市においても、子ども医療費について一歩踏み出した形での予算措置を検討し、いざ実行すべき段階に来たのではと感じています。近いうちに制度改正に向けて決断したいと思えます。



市政のココを問う KAMIAMAKUSASHIGIKAI DAYORI

Q 今後の小学校部活動の
方向性、あり方は

A 県の方針を待ち取り組む



高橋 健議員

高橋 熊本県は小学校運動部活動の社会体育への移行を図るとしているが、市としてはどう考えているのか。

教育部長 県の方針を待つ事になると思いますが、小学校運動部活動の社会体育化に向けて取り組む事になると考えています。

高橋 具体的には、どの様に、いつから完全に移行していくつもりなのか。

教育部長 社会体育への完全移行及び具体的なおころは未定の状態です。県の提言においても準備が整った種目、地域団体から移行していただきたいと考えています。

高橋 準備が出来次第というのはとてもアバウトなので、教育委員会の方針をしっかりと決めて早めに取り進めたい。

また、様々な課題が予想されるので、アンケート調査やフォーラムなどを行う予算も必要では



教育部長 課題を精査したうえで、早ければ12月の補正予算あたりでできればと思っています。

【ふるさと納税について】

高橋 今、ふるさと納税においては地元の特産品を送り、集客を図っている自治体があるが、特産品の贈呈についてどう思うか。

財政課長 特産品の贈呈については各自治体においても賛否両論ありまして、今のところ特産品の贈呈は考えていない状況です。

高橋 ふるさと納税されたほとんどの人が上天草市出身で、地元を愛する気持ちがあると思う。そんな方々に特産品を贈れば必ず周りにPRされ、紙などの広告より費用対効果があるのではないかと考える。どうにか、特産品を送れるように協議して欲しい。

市長 過疎化が少しでも止まるように、また、自治体として持続した取り組みが出来るように検討させていただきます。

議会の主な動き

7月	8月	9月
1日 ジオパーク構想推進協議会	3日 第30回熊本県消防操法大会	1日 9月定例会開会、提案理由説明
2日 八代・天草架橋建設促進期成会総会	5日 広報編集特別委員会視察研修(6日まで)	5日 議案質疑、委員会付託
5日 青少年育成・社明大会	8日 天草広域連合議会運営委員会	7日 金婚夫婦表彰式典
12日 上天草総合病院創立50周年記念式典及び祝賀会	18日 県知事との意見交換会(要望活動)	8日 一般質問(9日まで)
17日 上天草衛生施設組合視察研修(18日まで)	19日 第22回熊本県市議会議員研修会	10日 文教厚生常任委員会
22日 コンプライアンス調査特別委員会	20日 天草広域連合議会	11日 総務常任委員会、JAあまぐさ大矢野斎場落成式
24日 第3回広報編集特別委員会	21日 県民体育祭選手団結団式	12日 経済建設常任委員会
28日 天草地域森林組合通常総代会	25日 議会運営委員会、天草地域国県道路整備促進期成会総会	19日 委員長報告、採決、閉会
29日 熊本県地域福祉トップセミナー、日本ジオパーク認定申請審査員評価及び懇親会		24日 メモリアルホール運営委員会
31日 議会運営委員会、新天門橋上部工着工式		25日 パールラインマラソン組織委員会
		27日 五橋祭安全祈願祭、森慈秀感動文表彰式
		30日 総務常任委員会視察研修(10月2日まで)



追跡 あれからどうなった？

上天草市誘致企業 5社

企業誘致について・・・

企業誘致は議会においても、一般質問や質疑でよく取り上げられる課題の一つです。10年間で30社500人の雇用を目標に、企業誘致事業を推進している上天草市ですが、現在の誘致企業は何社あるのか？雇用人数は何名くらいなのか？市の強みである「食」を生かした加工品製造業などの企業誘致が期待されます。その現状を追跡しました。

企業誘致の現況と取り組み

会社名	誘致時期	住所／本社	事業内容	雇用人数
株式会社 マルチコンポジット	平成18年	上天草市大矢野町中 本社 北九州市	CFPRの成形	10名
天草きのこファーム 株式会社	平成23年	上天草市松島町 本社 上天草市	キクラゲの生産・乾燥 ・販売	7名
ユニテクノ株式会社 天草事業所	平成23年	上天草市大矢野町中 本社 東京都	半導体検査部品の組み 立て	34名
ベストアメニティ 株式会社	平成24年	上天草市大矢野町上 本社 福岡県久留米市	ワカメなどの水産品 加工	16名
株式会社フードワークス 株式会社天草魁水産	平成25年	上天草市龍ヶ岳町 本社 東京都	魚介類の一次加工・ 冷凍	21名

※9月現在の雇用人数（パート含む）

ベストアメニティ 現在、ワカメの加工を中心に期間限定で営業。今後、更に地元産の魚や海藻を使った加工品を開発し、年間を通じた事業を目指す。地元の漁師さん達との交流も積極的に行い、マリナ事業の展開など地域に密着した企業になりつつある。



フードワークス天草魁水産 大道中学校跡地に、最新鋭の加工施設や独自開発の冷凍設備を完備し、近隣漁港から水揚げされる新鮮な魚介類の加工を行う。今後は、市内漁協からの仕入れの充実を図り、地元産の魚などの加工食品開発も目指す。



積極的な誘致活動は行われていますが、成果として思うような誘致に結びついていないのが現状のようです。地域の特性を活かしたアイデアで誘致企業が発展されることを期待します。

もっと市民に親しまれる議会だよりを目指して！

～議会広報編集特別委員会研修報告～

議会広報編集特別委員会では、去る8月5～6日、先進地視察研修を行いました。その中で、特に参考になったものをご報告いたします。

〔1日目：合志市議会〕

- ◆ 全体的に文字の配置などすっきりしていて見やすかった。
- ◆ 行事や議会の動きを掲載することで、議会が何をしているか一目でわかり、上天草市議会でも取り入れたい。
- ◆ 一般質問の事項を追跡し掲載することで、その後の経過がわかる。大変参考になった。



〔2日目：小国町議会〕

- ◆ 全ページにおいて文字が大きく見やすかった。
- ◆ 基本的に一般質問以外の記事の原稿作成・編集・校正・印刷会社とのやり取りなど、広報委員4人で全て行っていた。

私たちはどうしても事務局に頼っているのですが、今後、レイアウトなども委員で作成することに決めました。



また、研修前に北里耕亮小国町長を表敬訪問し、小国町の取り組みなど意見交換をさせていただきました。

研修では、どちらの広報もとても読みやすく工夫されていて、大変勉強になりました。また、同じ委員だからわかる思いを話し合うことができ、いい刺激にもなりました。

今回学んだことで、上天草でもできることはさっそく取り入れ、これまで以上に市民と身近な広報づくりに務めます。この編集委員会メンバーでは今回を含めてあと2回の発行となりますが、これからも手に取りやすい、読みやすい、分かりやすいをしっかりと追求してまいります。

市議会災害対策本部設置規程を制定

市議会では、災害発生時に市防災対策本部と連携を図り、災害に対して迅速かつ適切に対応するため、規程を定めました。

災害対策本部構成員

- 本部長 議長
- 副本部長 副議長
- 本部長 総務常任委員長
- 本部長 経済建設常任委員長
- 本部長 文教厚生常任委員長

災害対策活動

- 市対策本部からの情報収集
- 市対策本部への情報提供
- 本部員への情報伝達
- 本部員からの情報の把握
- 被災地、避難所での情報収集など

笑顔が★キラリ

今回は龍ヶ岳町にお邪魔して突撃インタビューをさせていただきました。



吉井孝仁さん
佳香さん
大智くん(6才)
涼哉くん(4才)
彩乃ちゃん(2才)



小山孝俊さん
和代さん
智寛くん(9才)
和真くん(7才)
結ちゃん(8か月)

毎日のコミュニケーション・家族の会話を大事にしています。

兄弟で助け合いながら仲良く成長して行って欲しいと願っています。

○インタビュー・撮影にご協力いただきありがとうございました。



まちを歩いて…

松島地区

◆千巖山（標高162m）・・・昭和31年国立公園指定

千巖山は昭和8年に、国立公園調査委員の一行が天草全体を視察のため訪れ、地の奇岩が織り成す風景から「千巖山」と命名され、昭和10年に国の名勝地として指定されました。それ以前は「天草・島原の戦いで天草四郎がこの山頂で出陣の宴を張り、杓子で酒を酌み交わした・・・」という伝説から手杓子と呼ばれていました。山頂からは眼下に天草五橋が一望でき、宇土半島・島原半島・天草下島・八代海など360°のパノラマが楽しめます。



千巖山からの風景

また、オルン「天草・松島コース」のルートにも取り入れられています。

表紙の写真



270年もの伝統ある上八幡宮祭。この神輿行列は、各区から奉納された17基の傘鉾を先頭に「征夷討行征(せいとこせい)」の勇壮な掛け声の奴踊り、御神輿、獅子舞、豊年万作踊りと総勢二百数十人の大名行列です。

次の定例議会は

11月27日開会です

ぜひ傍聴にお越しく下さい

詳しくは議会事務局へ 0964-26-5536



小西 涼司	宮下 昌子	何川 雅彦	嶋元 秀司	島田 光久	平田 晶子
-------	-------	-------	-------	-------	-------

上天草市議会 広報編集特別委員会

人間が生きる上での豊かさとは何だろうか。今一度考えてみたい。(島田 光久)

島に残って家を守るのだ。」と小言のようによく言っていた。その間、日本は成長し暮らしは便利になったが、人口減少で空き家が増え、山の尾根まで整備されていた畑は雑草と雑木で山に戻りつつある。人生も後半になった今、祖父の言葉の重さと自然、家、地域を守り維持して行く事の厳しさに気がついた。

編集後記

毎年忘れずに咲き出す彼岸花、日暮れも早くなり、季節は冬へと向かっている。仏壇に手を合わせながら、いまは亡き祖父との暮らしを思い出す機会があった。まもなく50回忌を迎える。物心ついた頃からいろいろを囲みながら昔話をよく聞いていた。「お前は長男だから